

6 アルコール

健やか山梨21 -2008年版-

<現状と課題>

- 多量飲酒者の増加
- 適正飲酒についての知識の普及が不十分
- 飲酒経験のある中高生の存在

基本指針

《取り組みの方向性》

- 未成年者に飲酒をさせない環境づくり
- 妊婦の飲酒防止のための普及啓発
- 適正飲酒の普及啓発
- アルコールの害についての知識の啓発

◆ 評価

目標設定	対象	目標値	ベースライン値	中間評価 あるいは2008 年版策定時	直近実績値	評価
多量に飲酒する人の 減少（一日平均純ア ルコール60g超）	男性 (20歳以上)	7.1%以下	8.9% (H11)	12.5% (H17)	7.4% (H23)	B
	女性 (20歳以上)	3.2%以下	4.1% (H11)	3.9% (H17)	8.5% (H23)	D
未成年者の飲酒をなく す	男性 (中学3年)	0%	なし	なし	12.9% (H23)	E
	女性 (中学3年)	0%	なし	なし	16.1% (H23)	E

A 目標に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない
D 悪化している E 評価困難

【現状と課題】

○多量飲酒者は男性は減少傾向にあるが目標値には達しなかった。女性はベースライン値より高くなっている。多量飲酒者とは、調査で「週一回以上飲酒する」と回答した者のうち「一回3合以上飲酒する」と回答した者の割合である。

○指標「未成年者の飲酒をなくす」については、計画のはじめから指標としてきたものの、中間評価時点でもデータはなかった。飲酒率とは、「過去1ヶ月以内に飲酒したことがある者の割合」である。

○H23年度に教育機関の協力を得て調査を行ったところ中学3年生で1割以上の子どもが飲酒している実態があった。また、同じ調査の中で飲酒経験ありの者に「お酒を飲んだことのある場面」をきいたところ、「冠婚葬祭」「家族と一緒に」という回答が2割～3割あり、家族が同席した場面で未成年者が飲酒している状況があった。

【今後の方向性】

○多量飲酒者は男性、女性とも目標値まで届かず、女性は悪化している。適正飲酒についての啓発普及が必要である。

○中高生の飲酒状況が明らかになり、未成年に飲酒をさせない環境づくりに取り組む必要性がある。

【参考】 健やか山梨21推進会議、構成団体の取組みの一部(H23)

山梨県薬剤師会	健やか山梨21関連研修会、ポリフェノールの作用について
山梨県栄養士会	イベント時にお酒の飲み過ぎと生活習慣病のかかわりについての指導、ホームページによる情報提供
市町村	特定健診・保健指導、自主グループ支援
県社会教育課	未成年者の飲酒喫煙防止ポスターの作成、やまなし青少年社会環境健全化推進会議の開催
県精神保健福祉センター	アルコール保健講演会
県保健福祉事務所	小・中・高等学校、事業所への出前健康講座